

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

678-611

事務事業名	鈴岡城址公園整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	4	5	12	5	54,160
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり											
施策	62 地域資源の資産化											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間	15	年度～	22	年度						
		関連計画条例等	都市公園法・都市公園条例・文化財保護条例									

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	・市民 ・整備区域	市民数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了した年度とする	
			107938	107000			
	公園面積(ha)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度				
		6.3	603				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	・史跡を公有地化することにより保存し後世に伝えと共に、市民の憩いの場として整備する。	公園区域内の史跡面積の内、公有化した面積率(%) (買収済史跡面積 / 史跡面積 23,830m2) (諏訪社・市有地・駄科区有地等)	18目標	36.1	最終目標	100	22
			18実績	36	19目標	48.9	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
18実績				19目標		↑	
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<p>・平成23年の開園100周年を目標に、長野県史跡を活かした公園として整備を行う。</p> <p>・長野県史跡を公有化することで保護し、地域の歴史を活かした特色ある公園とし、公園の歴史などを学べる学習施設を園内に設置する。</p> <p>・公園整備計画により、平成22年度末までに公園区域内の史跡指定民有地の公有地化及び、公園整備を行う。</p>	<p>・用地買収・立木補償</p>	<p>・用地買収面積:m2</p>	13855
	18年度の実績			
	19年度計画	<p>・用地買収</p> <p>・いこいの広場整備</p> <p>・マレットゴルフ場等整備</p> <p>・道路整備</p>	<p>・用地買収面積:m2</p> <p>・いこいの広場整備:m</p> <p>2</p> <p>・マレットゴルフ場等:箇所</p> <p>・道路改良W=4.0m:m</p>	<p>7,064</p> <p>5,700</p> <p>1</p> <p>295</p>

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	41,600	51,400
	その他		
一般財源	2,191	2,760	
事業費計(A)	43,791	54,160	
人件費	正規職員所要時間	18年度 500	19年度 1,000
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,788	3,576
	トータルコストA+B	45,579	57,736

特定財源内訳や補足事項	合併特例事業債(95%)
-------------	--------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	価値が顕在化され高まる。	活用できる状態の整った地域資産の数(累計)	現状値	436	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	520
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民の要望に基づき、平成14年に地区住民主体の長野県史跡鈴岡城址公園整備委員会が発足し、本格的な整備事業について行政を含めて検討会が始まった。</li> <li>・同年度末に基本方針が決定し、市長宛に要望書が提出された。</li> </ul>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年の開園100周年を記念したイベントなどを地元では検討している。</li> </ul>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針の策定を受けて、竜丘地区自治協議会から市長宛に要望書が提出された。</li> <li>・年に2回開催している市と竜丘地区との連絡協議会では早期整備を要望されている。</li> </ul>
---	--	--

**【See】18年度の振り返り**

目的 妥当性 評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由) ・史跡を保護し、公園整備を実施することで市民に憩いの場が提供できる。</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <b>余地がない</b> (その理由) ・計画どおり進める。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由) ・都市公園法・文化財保護条例で定められた区域である。</p>	<p>有効性評価 廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由) ・平成23年予定の開園100周年記念行事の開催が危ぶまれる。竜丘地区の予定行事として地区民などに周知している。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由) ・鈴岡城址という史跡を活かすことは、市民の生活に安らぎを与えながら史跡について学ぶ場所を提供することになる。</p>	<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <b>関連事業あり</b> (類似事業名、理由) ・教育委員会で別事業として、史跡の内容を伝える看板(案内板)設置などを行い、市民が公園の歴史を学ぶことができるための整備をする予定であり、連携して事業を進める</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由) ・都市計画公園整備並びに史跡の保護が主体となる公共施設の整備事業である。</p>	<p>効率性評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由) ・史跡内であり地形の変革が難しいため、史跡保護のための用地取得、必要最小限の整備とした。</p>
			<p>公平性評価 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由) ・都市計画公園であり、市民誰もが利用できる事から受益者負担なしに、行政が整備を行うべきものである。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p> <input type="checkbox"/> 終了  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 目的見直し  <input type="checkbox"/> 別事業に統合  <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善  <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持         </p> <p> <input type="checkbox"/> 実施年度  <input type="checkbox"/> 具体化         </p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p>
--	-----------------------------

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	